

京都大学医学部附属病院を受診される患者さんへ

研究課題名

造血器腫瘍遺伝子定量検査の精度向上に向けた研究

造血器腫瘍遺伝子定量検査は、白血病の確定診断と病勢評価、治療効果の判定および経過観察において重要な検査です。今回の研究では、造血器腫瘍遺伝子定量検査の精度向上を目的として測定方法の評価を行います。

研究の対象者は、京都大学医学部附属病院を受診され、造血器腫瘍遺伝子定量検査を受けられた患者さんを対象とします。研究に使用する骨髄液や血液は、医師により依頼があった造血器腫瘍遺伝子定量検査の残りの骨髄液や血液を使用します。骨髄液や血液は匿名化をして使用し、個人情報を保護します。また、カルテよりお薬や他の検査結果などの情報を集めますが、これも個人情報を保護するために名前や個人を特定できるような表示は一切いたしません。この研究には2010年4月1日から2022年3月31日までに検査依頼があった骨髄液や血液を使用します。この研究にご承諾いただけない場合は、下記連絡先までご連絡ください。ご承諾いただけない場合でも、患者さんが治療を受けられなくなるなどの不利益を受けることは一切ありません。また、この研究についてご質問がある場合、他の研究対象者等の個人情報等の保護、研究に支障がない範囲で研究に関する資料開示も可能ですので、ご相談ください。

(*) 上記につき、京都大学の医の倫理委員会の承認を受けています。患者さんに費用負担を求めることは、一切ありません。研究の公正性と透明性に最大限留意いたします。

京都大学医学部附属病院 検査部

石田 敦巳 (主任臨床検査技師)

渡邊 珠緒 (主任臨床検査技師)

庄司 月美 (臨床検査技師)

TEL : 075-751-3599

京都大学医学部附属病院 総務課 研究推進掛

TEL : 075-751-4899

E-mail : trans@kuhp.kyoto-u.ac.jp

研究責任者: 京都大学病院 臨床病態解析学講座 臨床病態検査学

一山 智

2017年4月4日